

裁判員制度の問題点を指摘

高山弁護士講演
高山前橋

市民が裁く

五月に導入予定の裁判員制度について考える講演会が二十五日、前橋市大手町の県女性会館で開かれ、東京弁護士会所属の高山俊吉弁護士が制度の問題点を指摘した。

同制度に批判的な意見が多く聞かれる中、導入の是非

裁判員制度 高山俊吉



裁判員制度の問題点を指摘する高山弁護士

非をあらためて検討してもらおうと、群馬弁護士会に所属する弁護士ら有志でつ

くる実行委員会が主催した。

高山弁護士は米国の陪審員制度を引き合いに出し、「陪審員のように裁判が適正に行われているかをチェックするのが本来の市民の司法参加。裁判員制度は『国の判断が正しい』という前提に立っている」などと持論を展開した。

高山弁護士は一九四〇年生まれ。二〇〇八年の日弁連会長選挙で同制度の問題点などを訴え、当選した宮崎誠弁護士(約九千四百票)に迫る約七千票の支持を得た。